

総合的な学習の時間－４（第４学年） 複数の視点で分析したり比較して考えたりする力を育成する事例
【学習活動の概要】

<p>1 単元名 育てて、作って、楽しもう －内藤唐辛子復活大作戦－</p>															
<p>2 単元の目標 伝統野菜「内藤唐辛子」を栽培し利用する活動を通して、食料生産にかかわる人々の努力や工夫、地域の特色に気付き、地域の一員としての自覚をもちふるさとを大切にしようとする。</p>															
<p>3 評価規準 【課題設定の力】体験活動等を通して生じた疑問を、解決すべき課題として設定している。 【論理的思考の力】対象を複数の視点で分析したり、比較して考えたりしている。 【コミュニケーションの力】相手の立場を考えて、自分の思いや気持ちを伝えている。 【意思決定・行動力】地域に貢献できる活動を考え、力を合わせて実行している。</p>															
<p>4 教材 本単元の中心的な教材となる「内藤唐辛子」は、古くから伝わる江戸の野菜である。現在は、その生産も少なくなり貴重な品種となっているが、かつては学校近隣で大量に生産されていた。 この地域に伝わる貴重な「内藤唐辛子」の復活に向けた生産活動を行うことを本単元の中心的な活動とし、さらには、唐辛子を使った料理作り、菓子作りなどへと発展させていく。そのことで、生産活動に携わる人々の工夫や努力、地域への思いなどを知ることにつなげていく。</p>															
<p>5 主な学習活動 (1)単元の展開（全55時間）</p>															
<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="271 985 375 1041"></th> <th data-bbox="375 985 965 1041">学習活動</th> <th data-bbox="965 985 1412 1041">言語活動に関する指導上の留意点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="271 1041 375 1187">第一次</td> <td data-bbox="375 1041 965 1187">○大久保地区の特色を整理し、地域への関心を高める(5) ○大久保に伝わる伝統野菜に目を向け、その秘密を探る(8)</td> <td data-bbox="965 1041 1412 1187">・伝統的な野菜が栽培されていた事実に関心をもつよう、昔と今の比較とその変化について意見交換していく</td> </tr> <tr> <td data-bbox="271 1187 375 1332">第二次</td> <td data-bbox="375 1187 965 1332">○「内藤唐辛子」を栽培する(17:本時 8/17) (苗を探す、生産者を見付ける、栽培方法を考える、害虫の退治など栽培上の問題を解決する、栽培の様子を観察記録する)</td> <td data-bbox="965 1187 1412 1332">・栽培の過程で生まれる問題を、調べたり、話し合ったり、分析したりして、協同で解決していく</td> </tr> <tr> <td data-bbox="271 1332 375 1456">第三次</td> <td data-bbox="375 1332 965 1456">○栽培した「内藤唐辛子」を使った調理法を考える(8) ○「内藤唐辛子」のよさを地域の人に広める(12)</td> <td data-bbox="965 1332 1412 1456">・生産物から商品や調理法を考え、それを広く地域に伝える活動を行う</td> </tr> <tr> <td data-bbox="271 1456 375 1568">第四次</td> <td data-bbox="375 1456 965 1568">○活動を振り返りレポートにまとめる(5)</td> <td data-bbox="965 1456 1412 1568">・活動したことやそこでの思考を確かな認識とするために、言語により振り返りまとめる活動を行う</td> </tr> </tbody> </table>		学習活動	言語活動に関する指導上の留意点	第一次	○大久保地区の特色を整理し、地域への関心を高める(5) ○大久保に伝わる伝統野菜に目を向け、その秘密を探る(8)	・伝統的な野菜が栽培されていた事実に関心をもつよう、昔と今の比較とその変化について意見交換していく	第二次	○「内藤唐辛子」を栽培する(17:本時 8/17) (苗を探す、生産者を見付ける、栽培方法を考える、害虫の退治など栽培上の問題を解決する、栽培の様子を観察記録する)	・栽培の過程で生まれる問題を、調べたり、話し合ったり、分析したりして、協同で解決していく	第三次	○栽培した「内藤唐辛子」を使った調理法を考える(8) ○「内藤唐辛子」のよさを地域の人に広める(12)	・生産物から商品や調理法を考え、それを広く地域に伝える活動を行う	第四次	○活動を振り返りレポートにまとめる(5)	・活動したことやそこでの思考を確かな認識とするために、言語により振り返りまとめる活動を行う
	学習活動	言語活動に関する指導上の留意点													
第一次	○大久保地区の特色を整理し、地域への関心を高める(5) ○大久保に伝わる伝統野菜に目を向け、その秘密を探る(8)	・伝統的な野菜が栽培されていた事実に関心をもつよう、昔と今の比較とその変化について意見交換していく													
第二次	○「内藤唐辛子」を栽培する(17:本時 8/17) (苗を探す、生産者を見付ける、栽培方法を考える、害虫の退治など栽培上の問題を解決する、栽培の様子を観察記録する)	・栽培の過程で生まれる問題を、調べたり、話し合ったり、分析したりして、協同で解決していく													
第三次	○栽培した「内藤唐辛子」を使った調理法を考える(8) ○「内藤唐辛子」のよさを地域の人に広める(12)	・生産物から商品や調理法を考え、それを広く地域に伝える活動を行う													
第四次	○活動を振り返りレポートにまとめる(5)	・活動したことやそこでの思考を確かな認識とするために、言語により振り返りまとめる活動を行う													
<p>(2)本時の学習 害虫を退治する方法をベン図を使って話し合うことで、それぞれの方法を複数の視点で分析したり比較したりして、状況に応じた最適な方法を選択することができるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>①アブラムシの発生について、スライドで現状を確認する。 ②調べてきたアブラムシの退治方法を紹介し合う。 ③ベン図と付箋紙によりアブラムシの退治方法を話し合い、グループで最適な方法を選択する。 ④話し合いの結果をクラス全体に発表する。</p> </div>															

【解説】

【指導事例と学習指導要領との関連】

小学校学習指導要領・総合的な学習の時間の第3の2の(2)「問題の解決や探究活動の過程においては、他者と協同して問題を解決しようとする学習活動や、言語により分析し、まとめたり表現したりするなどの学習活動が行われるようにすること。」と示している。

体験したことや収集した情報を、言語により分析したりまとめたりすることは、問題の解決や探究活動の過程において特に大切にすべきことである。そのためには、分析とは何をすることなのか具体的なイメージをもつことが必要となる。例えば、集めた情報を共通点と相違点に分けて分類したり、時間軸に沿って並べたり、原因と結果に分けたり、変化や結果を予測したり、現実社会の事象に当てはめたり、多面的・多角的に分析したりすることなどが考えられる。

本事例は、栽培活動を行う中で生まれてきた問題状況を改善し、解決していかなければならないという身に迫った状況の中、複数の対処方法から適切な方法を選択する場面である。ここでは、いくつかの方法のメリットやデメリットを複数の視点で分析すること、比較しながら考えることなどの思考が求められる。そうした論理的な思考力を育成するためにベン図と付箋紙を使ったグループでの話し合い活動を行うことにした。

【言語活動の充実の工夫】ーベン図と付箋紙を使った話し合いー

「内藤唐辛子」の栽培活動を始めたところ、アブラムシの発生が問題となった。アブラムシを退治しなければならない問題状況を解決するために、子どもは、聞き取り調査、書籍やインターネットなどでの調査を繰り返し、22通りの退治方法を見付けてきた。

本時では、どの方法を選ぶかを考え判断する小集団での話し合い活動を行った。グループでの話し合い活動を活性化するために次の手立てを考えた。



○付箋紙の操作による話し合い

22通りの退治方法を付箋紙にし、それをどこに位置付けるかを操作しながら話し合った。(写真参照)

○ベン図による3視点からの話し合い

三つの円のベン図を使用し、「安全に使用できるか(安全性)」「自分たちの手で行えるか(実現性)」「確実に退治できるか(効果性)」のどこに位置付けるかを話し合った。(写真参照)

児童にとっては、自ら解決しなければならない身に迫った問題であるとともに、話し合いの展開が目に見えて分かること、操作しながら考えがまとまることなどから、主体的で積極的な話し合い活動が行われていた。ここでは、複数の視点で分析したり比べて考えたりするなどの思考力が発揮されるとともに、22の解決方法から最適と考えられる方法を根拠に基づいて選び、学習カードに表現することができた。